



Governor's Monthly Letter

2013.8
第2号



2013-2014年度 RIテーマ

ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を
Engage Rotary, Change Lives



国際ロータリー第2770地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂1-2-1-116エイペックスタワー東館1階
TEL: 048-827-0022 FAX: 048-827-0011 E-mail: ri2770@ri2770.com



会員増強月間によせて

2013-14 年度ガバナー 渡邊 和良

ロータリークラブは、元々は、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたいという趣旨で、1905 年にアメリカのシカゴで誕生しましたが、現在では世界 200 以上の国と地域に広がり、クラブ数 34,297 クラブ、全世界ロータリアン総数 1,211,868 人(2013 年 2 月末現在)に達しています。

しかしながら、ロータリアン会員数は、2002 年 6 月の 1,243,431 人がピークで、その後、毎年減少の傾向にあります。国際ロータリーの資料によりますと、インド、ブラジル、韓国が会員数を増やしている一方で、アメリカ、日本、イギリス、オーストラリア等の先進国における会員数が減少して回復の兆しが見えません。ロータリーには、毎年およそ 12 万人が入会しますが、ほぼ同じ数の会員が退会していくため、会員数はここ 15 年にわたりほぼ横ばいになっています。

国際ロータリーでは、2015 年までにロータリーの会員数を 130 万人に（日本では、2013 年 2 月末現在 88,931 人を 10 万人に）まで増やすことを目標として掲げています。

私たちは、ロータリーを次の世代につないでゆくために、新会員をクラブに迎え入れる努力をしていかねばなりません。クラブが効果的に機能するためにも、会員増強が急務です。そして、地元や海外の地域社会を援助し、ロータリー財団を支援し、クラブレベルを超えてロータリーに奉仕できるリーダーを育成する必要があります。

2013 - 14 年度ロン D. パートン RI 会長は、会員増強について次のように言っています。「会員増強は他人事ではなく、私の責務であり、皆さん自身の責務であり、ロータリアン全員の責務です。勧誘が成功し、会員になっていただいても、皆さんの仕事がそれで終わるのではありません、むしろ、仕事はそこから始まります。新会員を指導し、彼らがクラブで重要な役割を

担い、ロータリーで満足感を得られるようにしなければなりません。」

現状のクラブ会員数に満足し、新しい会員を増やす努力をしないと、会員の高齢化や病氣、死亡などで年間 10 パーセントの会員数減少になると言われています。又、私たちは、会員増強とともに、退会防止策についても考える必要があります。退会の原因は、経営環境の悪化や退職、金がかかりすぎるという経済的な問題もありますが、クラブ内の問題（親睦の欠如、会員間のトラブル、クラブ例会の魅力の低下、奉仕プロジェクトに魅力を感じない、ロータリー情報の欠如等）も考えられます。

まずは年会費の見直しをして、若い会員が入りやすくすることも必要かと思います。アメリカの年会費は、一般的に 5 ～ 6 万円（食事代は出席ごとに 1,800 円くらいの負担）だと聞いております。食事なしの例会や、クラブの例会時間の見直し、規則や伝統なども柔軟に見直しをする必要があるかもしれません。ロータリーが生き残るためには、時代の変化とともに、私たち自身も変わる努力をしなければなりません。

又、日本のロータリアンは寄付はするが、汗を流し行動する奉仕活動には積極的ではないと言われています。私たちのロータリーライフを楽しく有意義にするためにも、クラブ員全員が参加する奉仕活動を、もっと積極的に進める必要があるかと思いますが、これらのことを行うことによって、効果的なクラブ運営が出来、新しく会員が入ってくるような魅力的なクラブが出来上がるのではないのでしょうか。

女性会員の勧誘も必要です。世界のロータリアンに占める女性会員の割合は約 15 パーセントですが、わが国では未だ 5 パーセント台でしかありません。女性会員勧誘は今後の大きな課題です。

「奉仕の心を行動に」

奉仕活動に力を入れ、地域の皆様に喜ばれ、認められるロータリークラブになってこそ、会員増強が可能になるのではないのでしょうか。

会員増強維持月間に因んで

会員増強維持部門委員長 宮下 守夫 (大宮シティ RC)

**R I テーマ ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を
地区活動方針 奉仕の心を行動に移そう**

8月は、会員増強維持月間です。すでに、会員増強維持部門では、地区協議会、P E T S、会員増強維持部門セミナーを実施し、ガバナー補佐・会長・幹事・増強委員長の方々には、地区の方針他のメッセージを差し上げました。

R I ロン D. バートン会長は、「今日ロータリーで目にするものは、昔とは違います。しかし、ロータリーの土台は変わってはいません。私たちの土台、中核的価値感に変化していません。私たちは、推薦され、その推薦を受諾することを選択して、ロータリークラブに入会しました。」と語り、渡邊ガバナーは、「ロータリーは温かい友情・寛容の精神を大切にするクラブであり、ロータリーの基本は奉仕。各クラブに奉仕活動プロジェクトを増やし、ブランドイメージを高めましょう。」と説かれています。

地区会員増強維持部門の方針

- ①若い会員・女性会員の増強に力を入れる。
- ②ガバナー補佐と会員増強維持部門の連携を図る。
- ③入会3年未満の集いを年2回実施。ロータリーのすばらしさを紹介する。退会防止策を図る。

④職業奉仕部門と連携して未充填の分野の新会員勧誘方策を図る。

昨年は、7月1日より6月末日までの入会者は282名でした。第3グループ46名、第11グループ45名、第1グループ37名が特筆されます。

第11グループは埼玉ゆずの新クラブの設立が寄与しております。

新会員入会速報は、今年度も継続して参ります。

ガバナー事務所のホームページの会員数及び出席率報告をご参照頂き各クラブの奮闘を御覧下さい。

S A K U J I 作戦は、次年度まで継続致します。準備の程お願い致します。

クラブにお願いしたいこと。3ステップです。

- ①紹介状を会員に配付し記入依頼して下さい。(用紙A)
- ②クラブに紹介があった場合、(クラブは地区に参加登録用紙B提出が必要です。)理事会で審議。クラブが定める入会手続きをして下さい。
- ③入会決定後は地区に遅滞なく連絡を下さい。

会員増強維持部門セミナー

会員増強維持部門委員長 宮下 守夫 (大宮シティ RC)

6月15日(土)午後1時30分より、さいたま市 清水園大宮にて、渡邊ガバナー年度の先頭を切ってセミナーが実施されました。

新旧ガバナー・地区研修リーダーを始め、地区役員・各クラブ会長・幹事・増強委員長他、会場が狭いにも拘わらず210名を上回る方の参加を頂きました。

当日は、桑原 繁 第一ゾーンコーディネーター(塩釜RC)による基調講演では、パワーポイントを使用、熱烈な講演を頂きました。

テーマは Ask! Ask! Ask! (誘ってみよう)

- ①ロータリーの理事会について ②ロータリー4人のメンバーと退会者 ③ロータリーの歴史 ④2770地区 ⑤ゾーン別退会者の内容 ⑥女性会員について ⑦若い会員の必要性 ⑧世代間の考え

方……。最後に会員増強と退会防止の方法等詳しくご講演頂きました。

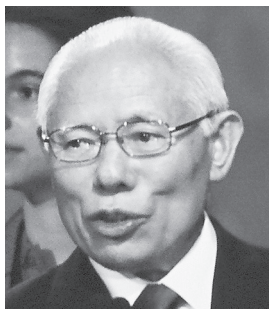
近々各クラブ宛、PPT・録音のCDが配付されます。是非増強・退会防止にお役立て頂きたくお願い申し上げます。

引き続き 経験者は語るコーナーでは、中村雅之大宮西RC会長(ロータリー歴28年71歳)、

梶間順子 浦和中RC会長
お二人の貴重なスピーチを頂きました。緊張の中にも、クラブ会長のお話も、楽しく拝聴させて頂きました。

増強・退会防止は常に私たちの問題であります。セミナーを経験し、改めて大切さを感じました。





国際ロータリーの活動

直前R I 会長 田中 作次 (八潮 RC)

R I 会長の仕事といえ
ば、アメリカのエバンス
トン本部で執務している
以外の日は、各国を訪問している、と言っても
よいでしょう。国際ロータリーを代表する者とし
て、ローマ法王との面会をはじめ各国の現ま
たは元政府高官と会談し、国際大会を主催し、
世界中のどこかで開催されている 100 周年ク
ラブの祝賀や、特に重要な行事に出席していま
す。こうして、ロータリアンの生の活動状況を
目の当たりにし、ロータリーのプログラムを遂
行するよう、会員を奨励しています。

ロータリーはすでに 108 年以上の歴史と
伝統を持ち世界で 200 以上の国と地域に
3 万 4 千以上のクラブが存在し、120 万人を
超える事業と専門職務のリーダー達が集まった
国際的なボランティア組織であり、全てに対し
て高い倫理基準の適用が特に重視されています。
ロータリーが 1985 年から開始したポリオ撲滅
運動を通じてメリンダゲーツ財団との深い信頼
関係も強化されました。さらに人道的、教育的
プログラムを通じて世界理解と親善そして平和
を推進しています。

ロータリー・クラブは人道的な奉仕を行い、
あらゆる職業において高度の道徳的水準を守る
ことを奨励し、かつ世界における親善と平和の
確立に寄与することを目指した実業人、および
専門職業人が世界的に結び合った団体です。

120 万人以上の会員は、地元や海外など世
界の国や地域で、地元地域社会の改善を目指し
て自らの専門知識、情熱、エネルギーをボラン
ティアで捧げる、事業や専門職のリーダーです。

そして各地域社会のニーズに対応した奉仕活動
を展開しています。特に飢餓、貧困、疾病、非
識字と云った重要な問題に取り組むボランティ
ア活動を行っています。

2012 - 2013 年度の RI テーマは「奉仕を
通じて平和を」にしました。平和フォーラムを
ベルリン、ホノルル、そして広島で開催し全て
が成功裡に終了しました。ロータリーの最優
先項目は全世界でポリオを撲滅することです。
ロータリーがポリオ・プラス・プログラムを発
足させ 1985 年以来、ロータリアンの強い意志
と努力によってポリオの感染数は 99% 減少し、
ポリオが撲滅される日はそう遠くありません。
ポリオ撲滅が達成されれば、天然痘に続いて人
類史上 2 番目に撲滅された疾病となります。さ
らにロータリーが取り組んでいる主な活動は以
下の通りです。

母子の健康、水と衛生設備、疾病予防と治療、
平和と紛争解決、基本的教育と識字率の向上、
そして経済と地域社会の発展です。

ロータリーは、教育や青少年のための活動
を通じて平和と国際理解を築きます。ロータリー
平和センター・プログラムは、世界に 6 つある
平和センターで、平和研究の分野における修士
号または終了証を取得する機会を毎年 100 以
上提供しています。現在 600 人以上の元平和
フェローが、世界各地の政府や組織で、重要な
決定や役割を担っています。ロータリーの青少
年プログラムでは、国際親善を促進するため、
海外留学の機会を毎年 115 カ国で 8,500 人の
高校生に提供しています。



国際ロータリー理事に就任して

RI 理事 (2013-15 年度) 北 清治 (浦和東 RC)

RI 直前会長田中作次氏のご活躍に感謝

「Peace Through Service 奉仕を通じて平和を」と RI テーマを掲げられ、国際ロータリー会長として素晴らしいリーダーシップを発揮されました田中作次氏のご活躍に先ず以て敬意を表する次第であります。

私たち第 2770 地区のロータリアンにとって誇るべきことであります。そして歴史にその名を刻んで頂きました喜びを共有させて頂きたいと思ひます。

ベルリン、ホノルル、広島で世界平和フォーラムが開催されました。広島では、「平和はあなたから始まる」の平和宣言が採択されました。この宣言は、日常生活における人々との調和や、国籍、政治、宗教、文化の隔たりに超えた友情を生み出すために、一人ひとり行動を呼びかけるものであります。

リスボンで開催されました国際大会では、当地区そして日本からも多くのロータリアンが参加しました。特に当地区の登録者が開催地リスボンの地区に続いて 2 番目であったという事は、ロータリーに対する熱意の表れであり田中作次会長の存在なくして語れないことであります。国際大会における内容の充実した素晴らしさは申すまでもなく、特に大会最終日には感動的なスピーチで参加者を魅了されたことであります。会長エレクトそして会長と 2 年間にわたり世界の国々を訪問されましたご活躍に重ねて敬意を表したいと思ひます。

国際ロータリーの理事として

理事としての活動は実質的に今年一月から始まりました。1 月には、RI 理事エレクト研修、国際協議会、RI 理事会へのオブザーバー出席。4 月には、3 年に一度開催される規定審議会に参加するなど世界におけるロータリーの一端を垣間見ることが出来たことは大変な収穫でありました。

6 月のリスボン国際大会の前一週間、理事会へのオブザーバー出席、そして大会後ロータ

リー財団管理委員会との合同会議、その後前倒しの今年度理事会が開催されました。世界から選ばれた 17 人の理事（9 人と 8 人が毎年交互に選ばれ二年の任期を務めます）と RI 会長、会長エレクト、事務総長で理事会を構成します。

理事会には、多くの議案が用意されております。手続要覧を脇に置き活発な発言が交わされました、会議はロバート議事法で行われております。

RI 理事としての職責を全うすると共に、日本から選出されていると言う側面を忘れてはならないと思っております。選出されました第 1 ゾーンを含む日本の地域（第 1 ～ 3 ゾーン）に対する責任も負っておるからであります。

国際ロータリーの日本事務局が港区の三田国際ビルに移転致しました。そして奉仕室が「クラブ・地区支援室」となりました。ガバナー会事務局、ロータリーの友、ロータリー文庫、米山記念奨学会があります港区芝公園の黒龍堂ビルの近くとなり、ロータリーに関係する情報発信やサービス機能が集結されました。

それぞれ素晴らしい情報機能を持っており、連携して相乗効果を発揮することが期待出来ます。私はこの機能を最大限活用して、日本の各地区やクラブへの情報発信サービス力を高めてクラブの活性化に貢献したいと考えております。

「ロータリーは利他の文化の先駆者—利他の心は、自らが幸せに至る道」





ロータリーの研修に参加しよう

地区研修リーダー 岩渕 均 (浦和 RC)

地区研修リーダーは地区研修委員会の委員長です。委員会はガバナーを補佐して、クラブや地区指導者の研修に当たる責任があります。委員会の対象とする研修は、RIの公式プログラムとしては、地区チーム研修、PETS、地区協議会、各部門セミナー、指導者育成セミナーなどです。

当地区の場合これらの研修は毎年実施され、大きな成果を得ていますので、ここでは少々視点を変えて、RIの非公式プログラムであるRLI (Rotary Leadership Institute ロータリー・リーダーシップ研究会)と今年度のRI会長であるロン D. バートン氏の唱える今年度のRIテーマの意味を考えてみましょう。

第一にRLIです。RLIの研修方法は教室形式での講義方法ではなく、10～15人程度の少人数での意見交換形式の研修です。席を「コ」の字に設定して、全員発言、全員参加の意見交換会です。勿論、ディスカッション・リーダーからロータリーに関する知識を学ぶこともできますが、この研修の最大の長所は、参加者が自分の意見を述べる機会があることです。自分の考えをまとめ、みんなの前で発表し、それに対する他の人の考えを聞いて議論を交わすことができることです。

クラブの指導者になる人にとっては有意義な研修です。対象者は、基本的には会長エレクト全員ですが、その他、ロータリー情報を吸収したいと考えるロータリアンの参加も大歓迎です。会長エレクトの皆様を始め、関心ある方は是非RLIにご参加ください。

第二に、今年度のRIのテーマ「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を（原文：Engage Rotary, Change Lives）」です。

皆さんはこのテーマを聞いた時、どのようなことを考えましたか？私はこのテーマを聞いた時、RIの戦略計画が頭に浮かびました。地区協議会の際にも書きましたが、「ロータリーの本質」を英語で述べている中で、ロータリアンを「inspired individuals who translate

their passions into relevant social causes to **change lives** in communities (RI日本語訳：地域の人々の生活を改善したいという情熱を社会に役立つ活動に注いでいる献身的な人々)」と言っているのです。

「ロータリアンの本質」に、ずばり「Change Lives」という表現があるのです。ですから今年度のテーマを実行するかしないかは、正に「単なる会員か、真のロータリアンか」ということになるのです。

RI会長の今月のメッセージには何度も「Change Lives」の表現が出てきます。

① “……, we can change people’s lives for the better,” (人々の暮らしをより良くすることができる) ② “……, and how their Rotary service can change lives.” (ロータリーの奉仕がどれだけ多くの人生を豊かにしているか) ③ “We change the lives of the people who need us.” (私たちを必要とする人々の人生を私たちは変えます) ④ “……. And along the way, our lives are changed as well.” (同じように、私たちの人生も変わります)

③と④の文章は文脈的につながっています。「私たちを必要とする人々の人生を私たちは変えます。……同じように、私たちの人生も変わります。」日本の諺と同じですね。即ち、「情けは人のためならず」です。

「人々の生活を変える」ことは容易ではありません。ましてや海外の人々となると英語の苦手な日本人には取り組み易いものではありません。しかし、RIの長期戦略、未来の夢計画の目指すところ、そして今年度のRI会長のテーマを理解すれば、「出来ない」とばかり言っているわけにはいきません。我々日本人には難しいことかもしれませんが、真のロータリアンになるために、今年度のテーマ「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を（原文：Engage Rotary, Change Lives）」を実践していきましょう。

第104回リスボン国際大会報告

リスボン国際大会推進委員 井橋 吉一 (越谷 RC)

国際大会の本会議は2013年6月23日(日)～26日(水)にリスボン市内のアトランティコ・パビリオンで開催されました。そして2770地区のガバナー・ナイト(田中徳尚ガバナーご苦労さま会、渡邊和良ガバナーエレクト激励会)は大会前日の6月22日にリスボン市内のホテルで開催されました。参加者は田中作次RI会長、アメリカの5340地区と他の地区より20名程と2770地区より300名のロータリアンに参加を頂き盛大に開催されました。内容として恒例になっている挨拶は、ガバナーの大役を間もなく終わられる田中徳尚ガバナーの謝辞と、これから大役を務められる渡邊和良ガバナーエレクトの少し緊張した挨拶の後に、特別に参加頂いた田中作次RI会長と2013-15年度RI理事を務められる北清治RI理事エレクトのお二人から挨拶があり、その後パーティーが始まり、参加者の交流や北清治RI理事エレクトの誕生祝い、ファドの演奏等があって和やかに行われました。

そして翌日の23日に大会の開会本会議が、2013年リスボン国際大会エド・フタ委員長の開会宣言および歓迎の辞によって4日間の大会

が始まりました。

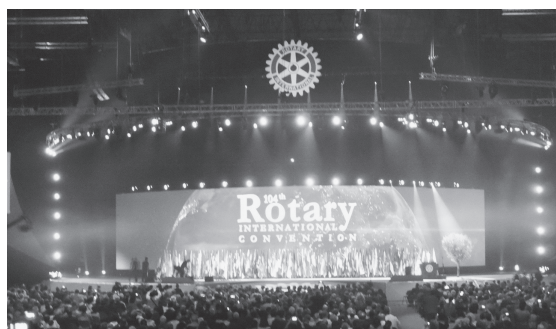
その後、200に及ぶロータリー参加国の国旗の入場と紹介があり、最後の国旗が田中作次RI会長出身の日本国旗の入場でした。入場と共に国家「君が代」の曲が流れ、日本から参加の皆さんが斉唱され歌が会場全体にいきなり、その雰囲気私に胸も熱くなりました。又その後ロータリー旗の入場時には、ロータリー公式の賛歌ベートーベンの「エグモント序曲」の演奏がなされ、会場全体が感動にあふれました。国旗入場後に田中作次RI会長のご家族紹介と、会長より歓迎の挨拶とRIテーマ「奉仕を通じて平和を」についての取り組み等について、英語でスピーチされました。

最後に、リスボン国際大会推進委員として皆様のご支援により国際大会に2770地区より390名の登録を頂き有り難う御座いました。国際大会全体で19,885名、日本全体で2,420名の登録です。よって2770地区の登録実績は国際ロータリーに充分誇れる実績と思います。2770地区のロータリアンの皆さん、ロータリークラブの推進委員の皆さんに感謝いたします。

2013年リスボン国際大会RI第2770地区ガバナー・ナイト
田中ガバナーご苦労さん & 渡邊ガバナー・エレクト激励会



田中ガバナーご苦労さん & 渡邊ガバナー・エレクト激励会



2014～15年度 青少年交換学生募集

ロータリークラブが提供する青少年交換留学制度は、学校の成績も大切ですが、最も大切なのは、留学したいという熱意です。私たちは、このようなホットな熱意を持つ高校生を海外へ留学させたいと思います。

■資格：応募時点での年齢が15歳以上17歳以下の高校1・2年生で、国際ロータリ2770地区内『埼玉県内荒川以东、高崎線（大宮～鴻巣）東北線（大宮～栗橋）東武線（谷塚～栗橋）武蔵野線（西浦和～三郷）』に居住又は地区内の高校に在学中の日本国籍を有する者。学校推薦が受けられて国際親善に関心のある高校生

■派遣期間：2014年8月～2015年7月（派遣国により異なります。）

■派遣留学予定先：アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ、ブラジル、台湾、韓国、フィンランド、スウェーデン、デンマーク、オーストリア、ドイツ、スイス、ベルギー 他

■応募締め切り：2013年8月11日（日曜日）

試 験

第一次試験

2013年8月24日（土曜日） 10:15～12:15

- ・日本語筆記試験（一般常識・作文）
- ・英語（筆記・リスニング）英語検定3級程度

第二次試験

2013年9月1日（日曜日） 13:00～17:00

- ・日本語による面接（保護者同伴）
- ・英語による面接

場所 カルタスホール 第2会議室（第一次試験、第二次試験とも）

合格発表 2013年9月30日（月曜日）





ROTARY INTERNATIONAL THE ROTARY FOUNDATION
Vocational Training Team

職業研修チーム (VTT) 募集

専門職に携わる人々の国際支援プログラム



職業研修チーム (VTT) とは、専門職業人のグループが海外に赴き技術や知識を学んだり、あるいは現地の専門職業人に技術や知識を提供するものです。

例えば、心臓外科手術と治療について医師や看護師を研修したり、幼児教育に関するベストプラクティスを学んだり、新しい灌漑技術を農家に指導するなど、さまざまな活動が可能です。効果的な VTT の実施により、地域社会の人々が自力で問題を解決し、生活を改善する力を身に付けることができます。

今回の募集は、サンディエゴにて「アルツハイマー病」について治療や研究に関する知識を深め、現場での研修を行うものです。

1. **募集人数** 4 名 (性別不問・年齢不問但し健康な方)
2. **応募企画** 「アルツハイマー病」の現状 (研究・治療・設備) についての職業研修チーム派遣
募集職業 医療従事者 / 介護従事者 / 関係者
3. **募集条件**
 - ・現在の職業に 2 年以上継続して従事している方
 - ・第 2770 地区内 (埼玉県南東部) 居住しているか、勤務している方 (但し、原則としてロータリアン、ロータリアンの子、孫、配偶者は除く)
 - ・ある程度の英会話が出来る方 (日常会話に不自由しない程度)
 - ・出発前に行うオリエンテーション (4～5 回) に出席できる方
4. **派遣地区** アメリカ・サンディエゴ (RID5340) 地区
5. **期 間** 2014 年 4 月からの 2 週間
6. **費 用** 渡航費用、滞在費は地区ロータリー財団が負担します。
※ホームステイ予定
7. **募集期間** 2013 年 5 月 1 日 (水) から 8 月 31 日 (土)
8. **選考試験** 2013 年 9 月 8 日 (日)
9. **場 所** 国際ロータリー第 2770 地区 渡邊ガバナー事務所
10. **応募方法** 詳しくはガバナー事務所までお問合せ下さい。



地区大会概要速報

地区大会の概要が決定しましたので、第一報としてお知らせします。

日時・場所：第1日 11月9日（土）15：00 登録開始

浦和ロイヤルパインズホテル

出席対象者：会長・幹事・地区役員

内 容：R I 会長代理挨拶、各部門現況報告、R I 会長代理歓迎晩餐会

第2日：11月10日（日）11：00 登録開始 さいたま文化センター

出席対象者：2770 地区全会員

内 容：R I 会長メッセージ、各委員会報告、大会決議、記念事業

「記念講演」 田中作次 直前R I 会長

「12 グループアトラクション」

大会テーマ 「祭りだ!! わっしょい ロータリー!!」

今大会のコンセプトは、会員による、会員のための、手作り大会。全員参加、自分たちの汗とパワーで運営。第2日は会場内に会員手作りの「模擬店コーナー」設置。またご夫人のための「レディースプログラム」も用意。

そして、各グループ対抗のアトラクション、大懇親会（抽選会あり）と盛りだくさんの企画です。詳細が決まりしだい、次号でまたお知らせします。

大会委員長：細川 章（浦和北RC） 大会実行委員長：矢作 守正（浦和北RC）

ホストクラブ：浦和北RC

コ・ホストクラブ：さいたま中央RC、浦和西RC、浦和北東RC、さいたま新都心RC

2013～14年度 国際ロータリー第2770地区 地区大会記念チャリティーゴルフ大会開催要項

開催日 平成25年10月7日（月）

会場 プレイステージカントリークラブ 東・西コース（貸切） TEL0282-31-1111

受付 受付は正面玄関をお進みいただいたところで行っております。東・西の各々アウトコース・インコースに分かれております。スタートの45分前には到着して下さい。スタート10分前までにティーグラウンドにお集まり下さい。

チャリティ ポリオプラスプログラムのチャリティーとして受付時に、設置のチャリティーBOXにご芳志をお入れくださいますようお願いいたします。

費用清算 プレー費等の清算は各自パーティー前にお済ませください。

競技方法 ① 18ホールズ、ストロークプレー、新ペリア方式、トリプルカット

最多ハンディ 36 までとする。オール6インチ、グリーン上ワングリップOK

② ティーグラウンド 男子：レギュラーティー（ゴールド）、女子：レディースティー（赤）

※シニアティーは使用しません。

③ スコアカードの提出・競技終了後に提出用紙にスコアと生年月日をご記入の上、同伴のアテストを受け係員に提出して下さい。コンピューターにて集計を行います。

④ ニアピンコンテスト及びドライビングコンテスト（午前中のみ）

・ドラコン：東OUT（9）IN（18） 西OUT（9）IN（18）

・ニアピン：東OUT（7）IN（17） 西OUT（6）IN（16）

ドラコン・ニアピン、あわせてお一人様2回のチャンスがあります。

午前中ハーフを終えた時点で、係員が旗を引き上げますのでご協力ください。

※ 競技は個人戦とし、団体戦等はありません。

親睦パーティ及び表彰式 競技終了後、クラブハウス内宴会ルームにて行います。

※何かご不明・お困りの点は大会実行委員長にお尋ねください。

緊急連絡先携帯電話：金子実行委員長：090-3346-3833 篠原運営幹事：090-3087-3547

知事表敬訪問

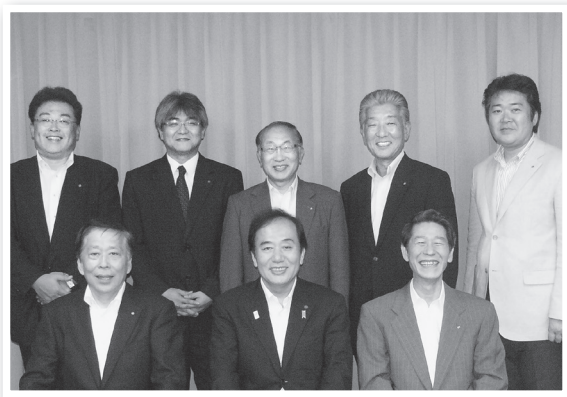
— 知事、ロータリーの青少年事業を語る —



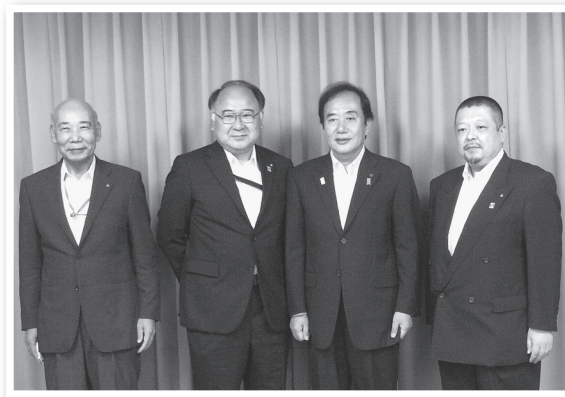
第 1 グループ



第 2 グループ



第 3 グループ



第 4 グループ

7月25日午前11時40分、埼玉県庁2階庁議室に第1グループから第4グループのガバナー補佐・会長が埼玉県知事を表敬訪問しました。

第1グループガバナー補佐がフレッシュ高校生社会体験プログラム「5 days プログラム」の受入事業所、定時制高校自律支援プログラムへのロータリーの協力や青少年交換学生への埼玉県親善大使の委嘱、埼玉発世界行き奨学金制度などで埼玉県と青少年育成で手を携えていきたいと表敬訪問の挨拶を述べました。

知事は、中途退学率が大阪と並び埼玉県

がワースト2であったところ、就業体験プログラムが功を奏して10位台に改善した話があり、多感な時期に就業体験を通して社会を知る機会を得られることが彼らの人間形成の上でよい影響をもたらすとその成果を強調しました。

また、7月4日に駐日米国大使館の独立記念日のレセプションに出席したことに触れ、「商務担当公使のアンドリュー・ワイレガラ氏にお会いし、同氏から、かつて浦和西ロータリークラブの交換留学生であったこと、埼玉で日本語を学び日本を知ったという話をお聞きし、たいへん驚きました。

交換留学生がアメリカの外交官として来日されたというロータリークラブの地道な活動が実を結んだ喜ばしい話です。公使の歓迎会のようなことをやっていただけたなら是非私にも声をかけて欲しい。」と称賛された。

上田知事の発言を受け、浦和西ロータリークラブの葭谷会長は「早速ワイレガラさんに連絡を入れます」と答えていました。

そして、和気あいあいのうちに写真撮影をして散会しました。

(第1グループガバナー補佐 佐藤美好)

(第2グループガバナー補佐 小山一宏)



知事表敬訪問参加者

第1グループガバナー補佐 佐藤 美好、浦和RC会長 羽鳥 勝己、浦和東RC会長 平田利雄、浦和中RC会長 石関 健、浦和ダイヤモンドRC会長 田邊 好昭

第2グループガバナー補佐 小山 一宏、浦和北RC会長 八木 光雄、さいたま中央RC会長 芝田 勝孝、浦和西RC会長 葭谷 広行、さいたま新都心ロータリークラブ会長 片瀬 重幸

第3グループガバナー補佐 濱野 英美、大宮RC会長 飯野 耕司、大宮南RC会長 宗像英明、大宮中央RC幹事 飯野 忠(代理)、大宮南東RC会長 清水 克悦、大宮シティRC副会長 佐々木 修(代理)、さいたま樺ロータリークラブ会長 井上 久雄

第4グループガバナー補佐 木木 栄一、大宮東RC会長 堀江 誠一、大宮北東RC会長 佐々木 直之、岩槻中央RC会長 小宮 勇

埼玉県知事ブログより



まさに「いい話」をご紹介します。

埼玉県のホームページの中には「知事の部屋」というコーナーがありますが、その中で知事は「知事の太鼓」というブログを掲載しています。

「知事の太鼓」のここは「打てば響く」ということのようにです。その中でロータリーの青少年交換を称賛している記事がありましたので会員の皆様にご紹介します。

7月19日(金曜日)の一打

「米国公使は浦和西ロータリークラブの留学生」

7月4日に米国大使館の独立記念日のレセプションに出席しました。埼玉県は、オハイオ州をはじめ米国中西部の各州と日本・米国中西部会を通じておつきあいがありますので、こうした米国大使館のレセプションなどにも御招待をいただくことがあり、タイミングが合えば出席しています。

(中略)

さて、このレセプションで、商務担当公使のアンドリュー・ワイレガラさんにお目にかかりました。ワイレガラ公使から、「実は、私は浦和西ロータリークラブの交換留学生として来日し、埼玉で日本語を学び、そして日本を知ったのです」というお話を伺いびっくりしました。

着任後、浦和西ロータリークラブをまだ訪ねていないとのことでしたので、「是非訪ねた方がいいですよ。皆さん大歓迎されますよ」と話をさせていただいたところです。私からも浦和西ロータリークラブに連絡を取っていますが、是非ワイレガラ公使の歓迎会のようなことをやっていただけたらいいのではないかと思います。

学生の頃、日本のロータリークラブの交換留学制度で日本に留学し、そして日本を学んでアメリカに帰り、その後アメリカの外交官となって駐日米国大使館の公使として来日されたということです。ロータリークラブの地道な活動が実を結んだ、まさに「いい話」だなと思います。

できれば周辺のロータリークラブの皆さんも含めて歓迎していただければ大変うれしく思います。その時には私にも声をかけてくれれば更にありがたいと思います。

「知事の太鼓」は読者からの感想を求めています。二人のロータリアンから感想が届いたそうです。こちらで紹介致します。

知事のブログを読んで本当に「いい話」だと思いました。

ロータリーは国際理解・国際親善のために青少年交換を何十年も続けています。当時の高校生が数十年後に外交官となって日本に戻ってきてくれる、何とすばらしいことでしょう。

知事のご提案にあるように、浦和西ロータリークラブを中心に歓迎会が開かれるものと思います。

尚、私の所属するクラブも8月にデンマークの高校生を受け入れることになっています。知事のブログを示して、ホストファミリーを始め会員全員に青少年交換事業の素晴らしさを再認識してもらおうと考えています。(UR)

知事がわざわざ浦和西ロータリークラブ事務局へお電話いただいた旨、先週金曜日にクラブ事務局からお聞きし、知事ブログ『知事の太鼓』を拝見すると同時に、共助社会づくり課と国際課へ連絡を入れ事情を把握させていただきました。
浦和西ロータリークラブの葭谷広行会長は、「『浦和西ロータリークラブここにあり!』を知っていただく絶好のチャンス」と、張

り切っております。

当地区では11月に地区大会を開催しますが、その際に、青少年交換留学を担当する新世代部門での講演会を実現するよう関係者と協議しているところです。(UN)

最初のメールに対して知事より次の返事が届きました。

UR 様

メールをお寄せいただきありがとうございました。

アメリカのワイレガラ公使がかつて埼玉に留学されていたことを聞いたときは、私もたいへん嬉しく思いました。公使が留学生のときにお世話をされたホストファミリーや浦和西ロータリークラブの皆様も大いに喜んでいらっしゃるのではないでしょう。

若い頃から異文化に接し、見聞を広めることは本人の将来の財産になるだけでなく、国際理解、国際親善を深めるためにとても有意義であると考えています。UR様が青少年交換事業に長年ご尽力されていることに深く敬意を表します。

来月は、貴ロータリークラブでデンマークからの高校生をお迎えするとのお話ですが、ぜひ、埼玉や日本の素晴らしさをお伝えいただくとともに地域の皆様との交流も図っていただければと思います。

UR様のますますのご活躍をお祈り申し上げ、今回の青少年交換事業のご成功を祈念申し上げます。

埼玉県知事 上田 清司

第12回 韓日親善会議についてのお知らせ

韓日親善委員会委員長 **蔡 熙乗**

敬愛する日本のロータリアンの皆さま昨年8月末、日本・東京で開催された第11回日韓親善会議は、東日本大震災のため、国内外の事情が非常に難しい状況にもかかわらず、日本側の委員そして日本のロータリアンの皆さまの献身的なご努力により、大成功裏に終わりました。遅くなりましたが、皆さまに心から感謝と敬意を表します。

来る10月19日～20日、韓国・グランド・ハイアット・ソウルで第12回韓日親善会議が行われることになりました。1982年に始まった親善会議の目的は、ロータリーの目標である理解と親善を深めることであります。そして、一衣帯水の隣国である日本と韓国との間で、お互いによく理解し合い、親善を深めることが大切であることは言うまでもありません。

今や、世界は歴史的大転換時代に突入しています。21世紀は、日韓両国を含む太平洋国家が、世界史を導く世紀になりました。そういう意味において、われわれ日韓両国のロータリアンが力を合わせ、今後アジアの主導的役割を果たす重要な時期が到来したと思います。

来る10月、ソウルで行われる第12回韓日親善会議には、両国のロータリアンが大勢ご参加の上、両国の友好と親善の絆を一層深めるよう、日本のロータリアンの皆さまのご協力、ご支援を心からお願い申し上げます。

グランド・ハイアット・ソウルでお目にかかることを楽しみにしたいと思います。

日韓親善委員会委員長・元RI理事 **今井 鎮雄**
日韓親善委員会連絡幹事 **市川伊三夫**

はじめにお礼を申し上げます。

昨年8月31日～9月1日、東京で行われた第11回日韓親善会議は、皆さまご存じのように、多くの逆風にさらされながら（特に当日、韓国を襲った台風のため、約20人の方々が来日できなかったにもかかわらず）、約1,200人の参加者が集まった、素晴らしい大会となり、大成功裏に幕を閉じました。

「こういう時こそロータリーがしっかりと、平和に貢献しなければいけない。良かった。素晴らしい会議であった」と、臨席の田中作次国際ロータリー会長や基調講演をお引き受けいただいた前国際協力機構（JICA）総裁・緒方貞子氏からお褒めの言葉をいただきました。

これはひとえに皆さまのご協力と熱意のおかげと関係者一同、心から感謝しております。

第12回大会はソウルで開催予定ですが、ようやくその日程が決まりました。詳細は未定ですが、取り急ぎ皆さまにご連絡申し上げます。

韓国側は第11回大会に負けない、素晴らしい大会にしたいと意気込んでおられます。何とぞ万障お繰り合わせの上、多数ご参加のほど、ご協力よろしくお願い申し上げます。

日 時 2013年10月19日（土）～20日（日）
場 所 グランド・ハイアット・ソウル
備 考 詳細はわかり次第ご連絡いたします。

お問い合わせは
日韓親善委員会事務局（第2750地区ガバナー事務所内） 事務局長 松下 昌夫
電話 03-3436-2750 ファクス 03-5472-2750

2013～14年度主要行事予定表

2013年

月 日	行 事	場 所
8月3日（土）	米山記念奨学部門セミナー	ラフレさいたま
8月10日（土）	管理運営部門セミナー	埼玉県民健康センター
8月31日（土）	広報部門セミナー	川口キューボラ・フレンジア
10月7日（月）	地区大会記念ゴルフ	プレステージ
10月10日（木）	2013－14第2回諮問委員会	割烹 玉家
11月9・10日 （土・日）	地区大会	埼玉文化センター 浦和ロイヤルパインズホテル
12月3・4日 （火・水）	ロータリー研究会	グランパシフィック LE DAIBA
12月13日（金）	2013-14第3回諮問委員会	浦和ロイヤルパインズホテル

2014年

1月7日（火）	諮問委員 濱野ガバナー・エレクト仕行会（夫人同伴）	浦和ロイヤルパインズホテル
2月5日（水）	2013－14第4回諮問委員会	浦和ロイヤルパインズホテル
6月1日（日）～4日（水）	国際大会	オーストラリア シドニー
6月20日（金）	2013－14最終諮問委員会（夫人同伴）	未定

ブライダルコーディネーター委嘱式

今年度のブライダル委員会は、7月13日のブライダルコーディネーターの委嘱式から始まりました。当日は、渡邊ガバナーにお越し頂きコーディネーターに委嘱状を渡していただきました。その後、全コーディネーターから意見をお聞きになり助言をいただきました。

ブライダル委員会は今年で28年目を迎える歴史ある委員会です。この委員会は、多くの若者に出会いの場を提供する目的で発足しました。

そして、今までに120組以上の方々がゴールイン致しました。

今年度も、多くの出会いの場を提供していきたいと思っておりますので、ロータリアンの皆様、身近に該当者がいましたら、紹介・推薦をお願いいたします。

尚、登録・年間スケジュール等問い合わせは、ガバナー事務所までお願いいたします。



文庫通信

(309号・310号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

◆ ロータリアンの著書より (2) ◆

- ◎「ガバナー読本」直木太一郎 1973 40p
- ◎「ロータリー・ニュース1983年－85年」直木太一郎 神戸R.C. 1985 98p
- ◎「童心に学ぶ『ロータリーの本質』」中山義之 川崎幸R.C. 1994 11p
- ◎「ロータリーの追続けるもの－米山梅吉の夢は」中山義之 1998 20p
- ◎「ロータリーにおける革新と保守について」中山義之 1999 41p
- ◎「ロータリーの国際性について」中山義之 1999 16p
- ◎「ロータリーの職業奉仕の概念と各論について(職業奉仕研修会記録)」深川純一 [1997] 56p
- ◎「職業奉仕論ノート」深川純一 [1998] 60p
- ◎「ロータリー学入門－クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕」深川純一・田中毅 D.2680 2003 89p

- ◎「素晴らしい出逢い よき師、よき友は人生の宝(1)」戸田孝 2006 207p

◆ 「ロータリーの資料」より ◆

- ◎「『リーダーシップ』について」深川純一 2013 13p (D.2760 地区大会記録誌)
- ◎「古澤丈作・米山梅吉・和田菊松に関する三題話」神崎正陳 2013 5p (D.2550 月信)
- ◎「ロータリーの初心を訪ねて」安平和彦 2013 16p (D.2680 西播第2グループIM報告書)
- ◎「元気なクラブになるために(会員増強・維持)」桑原茂 [2013] 9p (D.2500 地区大会報告書)
- ◎「決議23－34」木宏 2013 6p (D.2550 月信)
- ◎「ロータリーの楽しみ方」高野孫左エ門 2013 1p (D.2620 月信)
- ◎「クラブ活性化の戦略計画」山下皓三 2013 2p (D.2730 月信)
- ◎「和訳『ロータリーの綱領』が変わります」木村大三郎 2013 2p (D.2670 月信)
- ◎「米山梅吉と5人の群像」宮崎幸雄 2013 3p (米山梅吉記念館館報)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3 階
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時
休館＝土・日・祝祭日

	クラブ名	2013年7月1日 現在		増強 目標
			内女性	
第一グループ	浦 和	112	1	+ 6
	浦 和 東	81	3	+ 4
	浦 和 南	25	0	+ 3
	浦 和 中	35	2	+ 3
	浦和ダイヤモンド	25	7	+ 5
	第1グループ計	278	13	21
第二グループ	浦 和 北	71	6	+ 7
	さいたま中央	49	2	+ 3
	浦 和 西	19	2	+ 7
	浦 和 北 東	44	2	+ 7
	さいたま新都心	41	0	+ 2
	第2グループ計	224	12	26
第三グループ	大 宮	67	0	+ 3
	大 宮 南	39	6	+ 5
	大 宮 中 央	46	0	+ 5
	大 宮 南 東	9	5	+ 4
	大 宮 シ テ ィ	68	4	+ 8
	さいたま樺	19	1	+ 10
	第3グループ計	248	16	35
第四グループ	大 宮 西	87	4	+ 9
	岩 槻	29	4	+ 5
	大 宮 北	22	1	+ 5
	大 宮 東	36	0	+ 3
	岩 槻 東	28	1	+ 3
	大 宮 北 東	15	2	+ 3
	岩 槻 中 央	13	0	+ 3
	第4グループ計	230	12	31
第五グループ	上 尾	35	1	+ 3
	鴻 巣	24	1	+ 3
	桶 川	16	0	+ 3
	上 尾 西	39	0	+ 6
	北 本	9	0	+ 3
	上 尾 北	25	0	+ 3
	鴻 巣 水 曜	30	4	+ 5
	桶川イブニング	18	0	+ 2
	第5グループ計	196	6	28
第六グループ	春 日 部	41	0	+ 10
	杉 戸	23	0	+ 3
	春 日 部 西	30	1	+ 5
	庄 和	20	1	+ 3
	春 日 部 南	31	3	+ 5
	春日部イブニング	21	1	+ 3
	杉 戸 中 央	20	0	+ 3
	第6グループ計	186	6	32

※地区分担金完納後、正式決定となります。

	クラブ名	2013年7月1日 現在		増強 目標
			内女性	
第七グループ	幸 手	43	1	+ 5
	蓮 田	32	0	+ 5
	久 喜 菖 蒲	58	4	+ 6
	栗 橋	9	0	+ 2
	幸 手 中 央	23	0	+ 3
	第7グループ計	165	5	21
第八グループ	越 谷	82	4	+ 6
	越 谷 南	52	4	+ 5
	越 谷 北	53	1	+ 5
	越 谷 東	49	7	+ 5
	越 谷 中	16	0	+ 5
	第8グループ計	252	16	26
第九グループ	八 潮	47	3	+ 5
	草 加 南	11	1	+ 3
	八潮イブニング	24	2	+ 3
	草 加 中 央	20	0	+ 3
	八 潮 み ら い	25	0	+ 3
	草 加 松 原	33	2	+ 5
	第9グループ計	160	8	22
第十グループ	吉 川	32	2	+ 5
	三 郷	30	2	+ 3
	三 郷 中 央	17	0	+ 5
	三郷ウェンズデー	23	2	+ 5
	松 伏	14	4	+ 3
	第10グループ計	116	10	21
第十一グループ	川 口	83	11	+ 5
	鳩 ケ 谷	23	0	+ 3
	川 口 東	20	0	+ 5
	川口・鳩ヶ谷武南	26	2	+ 2
	川口モーニング	26	1	+ 5
	川 口 南	31	4	+ 3
	川口シティ鳩ヶ谷	17	0	+ 5
	埼 玉 ゆ ず	20	20	+ 0
	第11グループ計	246	38	28
第十二グループ	戸 田	52	6	+ 1
	蕨	23	1	+ 1
	川 口 西	26	4	+ 1
	戸 田 西	30	1	+ 3
	川 口 北	27	1	+ 5
	川 口 北 東	19	2	+ 5
	川 口 中 央	13	2	+ 2
	川 口 む さ し 野	17	1	+ 3
	戸田イブニング	18	0	+ 2
	第12グループ計	225	18	23
	地 区 合 計	2,526	160	314